

平成29年度予算のお知らせ

平成29年2月14日の第179回組合会において「平成29年度予算並びに事業計画」「一般保険料率の変更」等が承認されましたので、その概要をお知らせします。

一般勘定

平成29年度予算について、保険料率は、予定どおり0.5%の引き上げとなりますが、高齢者納付金が急激な増額になること等により大幅な赤字予算となります。そんな中ではありますが、加入者の健康寿命の延伸や将来の医療費抑制のための保健事業については、「データヘルズ計画」に沿って、前年に引き続き下記の重点施策を積極的に展開する事業計画としています。今年度も各社ごとに作成した「健康白書」により「健康会議」を開催し、各事業主とより一層連携を密にして計画を進めてまいりますので、みなさまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

重点施策

- 健康白書の発行と健康会議の継続(事業主との連携一層強化)
- 特定健診受診率向上(平成29年度目標90%)
- 特定保健指導(平成29年度実施率目標77%)の効果UP
- 重症化予防のフォロー(ハイリスク者割合30%削減)
- ポピュレーションアプローチの強化(食事・運動を中心にきめ細やかな対応)

予算の概要

【収入】

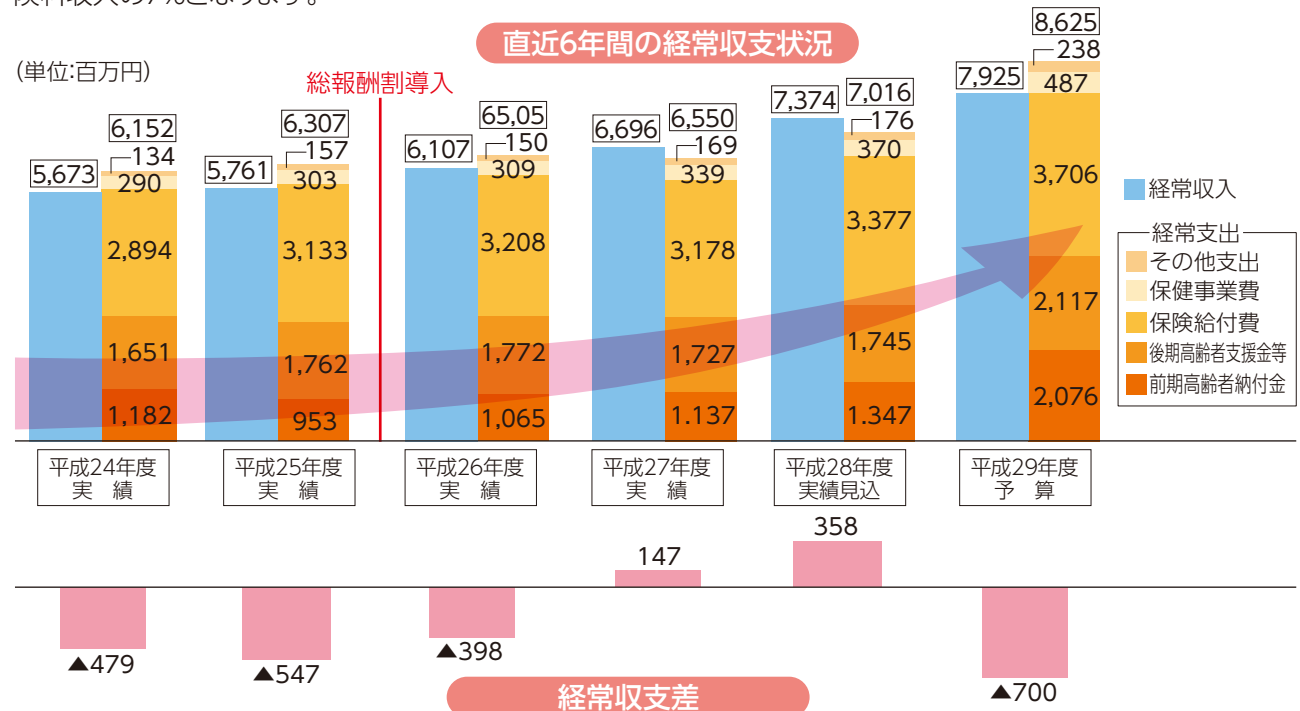
健康保険組合の収入は、みなさまからの保険料で成り立っています。保険料率の引き上げ並びに報酬額の増加に伴い保険料は増加する予算となっています。ただし、医療費や高齢者納付金等の増大する支出を下回る収入規模であり、不足分は別途積立金を取り崩します。

【支出】

高齢者納付金が全体で11億円も増加し、保険料収入の53%と保険給付費を大幅に上回る規模になります。このうち、7億円は、高額薬剤の利用等により前期高齢者の医療費が急増したことによる前期高齢者納付金の増大によるものです。残りの4億円は、後期高齢者支援金が全面的に総報酬割となったこと等によるものです。

病院等での医療費のうちの健保負担分や出産・傷病時の休業に対する手当金等の保険給付費が保険料収入の47%となります。毎年、医療の高度化や高額薬剤の登場等により着実に増加しています。

保健事業費は、被扶養者の健診・保健指導の受診増のほか、今まで以上にみなさまの健康づくりをサポートし、保険料収入の7%となります。



【一般保険料率】

平成26年2月の組合会において、平成26~29年度の4年間でそれぞれ別途積立金を取り崩して負担増を抑制しつつ、0.5%ずつ計2%引き上げることが決定されています。平成29年度は、左記の通り支出規模が想定以上に膨らみ、大幅な赤字となりますが、別途積立金を取り崩すことで、保険料率は、予定通り0.5%引き上げに留め、8.384%(被保険者:3.544%、事業主:4.840%)とすることになりました。



【収入の部】

| 科目 | (単位:百万円) | |
|------------|------------|-----------|
| | 平成28年度実績見込 | 平成29年度予算額 |
| 健康保険料収入 | 7,351 | 7,901 |
| 健康保険料 | 7,350 | 7,900 |
| 上記のうち特定保険料 | 3,206 | 4,194 |
| その他 | 1 | 1 |
| 調整保険料収入 | 136 | 141 |
| 別途積立金繰入 | 0 | 866 |
| その他収入 | 71 | 59 |
| 経常収入 | 7,374 | 7,925 |
| 収入合計 | 7,558 | 8,967 |
| 保険料率 | 7.884% | 8.384% |



1人当たり平均、72.3万円の保険料に対して、支出は、合計で79万円となり、6.6万円の不足となります。保険給付費が33.9万円、高齢者納付金が38.4万円(前期高齢者納付金は19万円を占めています)で、保健事業費は4.8万円となっています。不足分は別途積立金を繰り入れて対応します。

医療費は、一人ひとりが健康的な生活習慣を続ける(見直す)ことで、抑制できます。また、健(検)診により早期発見・早期治療でも医療費を抑制できますので、毎年健診を必ず受けて健康チェックしましょう。

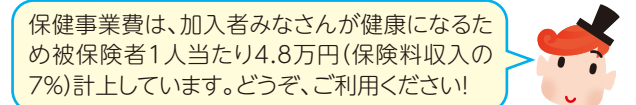
【支出の部】

| 科目 | (単位:百万円) | | |
|------------|------------|-----------|-------|
| | 平成28年度実績見込 | 平成29年度予算額 | |
| 事務費 | 149 | 185 | 2.34 |
| 保険給付費 | 3,377 | 3,706 | 46.91 |
| 法定給付費 | 3,209 | 3,531 | 44.70 |
| 付加給付費 | 168 | 175 | 2.21 |
| 高齢者納付金 | 3,093 | 4,194 | 53.08 |
| 前期高齢者納付金 | 1,347 | 2,076 | 26.28 |
| 後期高齢者支援金 | 1,633 | 1,993 | 25.23 |
| 退職者給付拠出金 | 113 | 125 | 1.58 |
| 保健事業費 | 391 | 525 | 6.64 |
| その他支出 | 143 | 157 | 1.99 |
| 予備費 | 0 | 200 | |
| 経常支出 | 7,016 | 8,625 | |
| 支出合計 | 7,153 | 8,967 | |
| 経常収支差 | 358 | ▲700 | |
| 法定準備金 | 1,916 | 1,916 | |
| 別途積立金 | 4,341 | 3,475 | |
| 平均被保険者数(名) | 10,888 | 10,913 | |

主要科目別の1人当たり金額

| 科目 | 平成28年度実績見込 | 平成29年度予算 | 増減額 |
|----------------------|------------|----------|---------|
| 医療費・出産関係費用等の保険給付費 | 310,187 | 339,592 | 29,405 |
| 高齢者医療制度への納付金 | 284,048 | 384,271 | 100,223 |
| 前期高齢者納付金(再掲) | 123,757 | 190,237 | 66,480 |
| 後期高齢者支援金(再掲) | 149,982 | 182,612 | 32,630 |
| 人間ドック等健診・保健指導等の保健事業費 | 35,895 | 48,068 | 12,173 |
| その他支出 | 14,241 | 18,386 | 4,145 |
| 経常支出合計 | 644,371 | 790,317 | 145,946 |
| 健康保険料収入 | 675,036 | 723,898 | 48,862 |

健康保険料収入 - 経常支出合計 ⇒ 30,665 ▲66,419



介護勘定

介護納付金は、加入者割が平成29年8月分より全体の1/2に総報酬割が導入され、平成32年度まで段階的に引き上げとなります。保険料率は、負担増加のため今後大幅に引き上げざるを得ない状況ですが、平成29年度は、平成28年度の残金を繰り入れることにより増加幅を抑制し、前年度と比較して0.10ポイント増に留め1.00%となります。

【収入の部】

| 科目 | (単位:百万円) | |
|--------|------------|----------|
| | 平成28年度実績見込 | 平成29年度予算 |
| 介護保険収入 | 545 | 613 |
| その他収入 | 9 | 51 |
| 収入合計 | 554 | 664 |
| 保険料率 | 0.90% | 1.00% |

【収入の部】

| 科目 | (単位:百万円) | |
|-----------------|------------|----------|
| | 平成28年度実績見込 | 平成29年度予算 |
| 介護納付金 | 502 | 610 |
| 介護納付金(1人当たり負担額) | (65,180) | (73,079) |
| その他支出 | 1 | 54 |
| 支出合計 | 503 | 664 |